

ふれあいセンター

もせつこ同士意思疎通

赤ちゃんといれあい、命の大切や親子の絆を感じてもらおうと、例年行われている「もせつこふれあい教室」が10月5日、保健センターで行われました。中学3年生と、9組の親子が参加。



10人の赤ちゃんは、とっても積極的でお兄さん、お姉さんと遊びたくて仕方ない様子。そんな赤ちゃん

たちに、少々押され気味の中学生は、恐る恐る抱っこに挑戦。コミュニケーションがとれたところで、おやつに用意されたバナナヨーグルトをスプーンで赤ちゃんに食べさせてあげます。口の周りを真っ白にし、可愛い仕草の赤ちゃんに中学生もニッコリ。もせつこ同士ほっこりとした交流が図られました。

秋の火災予防運動



「火の用心 ことばを形に 習慣に」をスローガンに、全道一斉に秋の火災予防運動が10月15日～10月31日まで実施されました。これから暖房機器の使用等により火災が発生しやすい季節となってくるため、地域住民の火災予防の意識を高めようと本町においても期間中の10月16日に火災防止を呼びかける防火パレードが行われました。消防車両と町内業者のタンクローリー車7台で市街地と農家地区を巡回しながら火災予防を呼びかけました。午後からは地域住民宅を訪問し、火防査察が行われました。

楽しいゲームに笑顔満開

高齢者や福祉関係者らに軽スポーツを楽しんでもらおうと10月28日、町総合体育館において「第37回福祉レクリエーション大会」（町社会福祉協議会主催）が開催されました。この日の参加は、子どもも含め約60名。準備運動で十分に体をほぐし、レクリエーション大会がスタートしました。初めは緊張気味だったお年寄りも、ゲームが進むにつれ笑顔も増え、子どもたちとの会話も増えてきました。パイプイスの脚の間をゲートボールのゲートに見立て、スティックでボールを叩き通過させるゲーム「ホールインワン」では、お年寄りの活躍が目

立ち、子どもたちも声援を送るなど、盛り上がりを見せていました。



小中学校合唱交流会

いじめ根絶に向けた取り組みとして例年行われている「小中合同合唱交流会仲間づくり集会」が10月31日、妹背牛小学校において行われました。小学校、中学校学年ごとに素晴らしい歌声を響かせました。中学校3年生は歌声に合わせ「恋ダンス」も披露。最後は

児童生徒全員で隣のトトコの「さんぽ」を大合唱。トトコに扮した中学生が現れ



ると、会場は楽しい雰囲気になりました。

その後の仲間づくり集会では、小中学生の共通スローガンとして「sweetスイート」を提唱。「一人ひとりが思いやりと優しさの心をもって、いじめを防止し、明るく楽しい学校生活を送りましょう」と呼びかけました。

祝金婚式



11月9日、妹背牛温泉ペベルにおいて「平成29年度 妹背牛町金婚を祝う会」(町社会福祉協議会主催)が催されました。出席されたのは、昭和42年にご結婚された11組のご夫婦。寺崎町長から「喜びや悲しみを分かち合いながら本日を迎えられた深い絆に敬意を表します」とお祝いの言葉が贈られました。

結婚50年を祝した「祝福吟」が披露され宴がスタート。白百合琴の会の大正琴の演奏や、その音色に合わせて、寺崎町長が自慢の喉を披露するなど、祝宴を盛り上げました。出席されたご夫婦からも笑みがこぼれ、終始和やかな宴となりました。

違法な業者利用しないで！

平成25年度に施行された小型家電リサイクル法により各市町村でのパソコン回収が可能となつてから例年実施されている廃パソコンの回収が10月14日、町民会館において、行われました。この日は、18名の方が、町民会館



を訪れ、約50台の廃パソコン等が回収されました。町では、毎年1回、廃パソコン等の回収を行なっています。1日限りの実施ですが、無許可の回収業者等は利用せず、この廃パソコン回収の利用を促しています。来年度も同時期の回収を予定していますので、是非ご利用ください。

新そば・新米に舌鼓

妹背牛産にこだわった新そば、新米を味わう「2017妹背牛新そば&新米を味わう会」(主催：手打ちそば倶楽部もせうし 進藤卓弥代表)が、10月21日わかち愛もせうし広場において開催されました。新そば、新米を味わおうと大勢の人たちが詰めかけました。会場には、だし汁の良い香りが漂い、食欲を刺激します。もり、かけ、野菜天ぷら、カレー、月見など5種類のそばに妹背牛産の新米おにぎりセット。「そばも、新米も美味しい」と来場者からは大好評。また、この日を楽しみにしていた“そばファン”も多く、「何度食べても美味しい」と笑顔を見せていました。

用意された200食のそばはすべて完売となる大盛況でした。

